

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】平成28年9月15日 (2016.9.15)

【公開番号】特開2016-138465(P2016-138465A)  
 【公開日】平成28年8月4日 (2016.8.4)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-046  
 【出願番号】特願2015-12347(P2015-12347)  
 【国際特許分類】

**F 0 2 B 37/00 (2006.01)**

**F 0 4 D 29/44 (2006.01)**

【F I】

F 0 2 B 37/00 3 0 1 F

F 0 4 D 29/44 P

【手続補正書】  
 【提出日】平成28年6月9日 (2016.6.9)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】請求項 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【請求項 1】

過給機におけるコンプレッサと、前記コンプレッサの吸入気体入口側に連結される吸気サイレンサとの間の吸気通路に設けられる吸気整流装置であって、

前記吸気サイレンサに設けられるとともに、該吸気サイレンサ側から前記コンプレッサ側に向かって内径が小さくなるフローガイドと、

前記フローガイドと前記コンプレッサとの間に設けられ、前記フローガイドと前記吸気通路との間を接続するカバーリングと、を備え、

前記カバーリングの前記吸気サイレンサ側端部の内径は前記フローガイドの末端部の内径に合わせられ、前記カバーリングの前記吸気通路側端部の内径は前記吸気通路の内周面の内径に合わせられていることを特徴とする吸気整流装置。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 1 1】

即ち、本発明に係る吸気整流装置は、過給機におけるコンプレッサと、前記コンプレッサの吸入気体入口側に連結される吸気サイレンサとの間の吸気通路に設けられるものであって、前記吸気サイレンサに設けられるとともに、該吸気サイレンサ側から前記コンプレッサ側に向かって内径が小さくなるフローガイドと、前記フローガイドと前記コンプレッサとの間に設けられ、前記フローガイドと前記吸気通路との間を接続するカバーリングと、を備え、前記カバーリングの前記吸気サイレンサ側端部の内径は前記フローガイドの末端部の内径に合わせられ、前記カバーリングの前記吸気通路側端部の内径は前記吸気通路の内周面の内径に合わせられていることを特徴とする。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 3 7  
 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 3 7 】

一方、カバーリング 2 0 は、フローガイド 3 0 とコンプレッサ 2 の吸気通路 1 0 ( インナーハウジング 6 a ) との間に位置する環状の部材であり、吸気通路 1 0 を形成しているインナーハウジング 6 a に複数のボルト 1 9 で締結されている。このカバーリング 2 0 により、インナーハウジング 6 a の内周面が実質的にフローガイド 3 0 側に延長されている。カバーリング 2 0 の内径は、フローガイド 3 0 側から吸気通路 1 0 側に向かって緩やかに小さくなっており、フローガイド 3 0 の末端内周面 3 0 a と吸気通路 1 0 の先端内周面 1 0 a との間がカバーリング 2 0 の内周面を介して段差無く滑らかに接続されている。このカバーリング 2 0 は、コンプレッサ 2 のケーシング 6 等を構成している鋳鉄 ( 例えば A S T M 規格 A 5 3 6 の G r . 6 5 - 4 5 - 1 2 、 J I S 規格の F C D 4 5 0 等 ) によって鋳造するのが好ましいが、他の材料によって製造してもよい。